

# 【競技上の注意】

審判長 北林 妙子

本大会は、現行の日本卓球ルールに準じて行います。

競技者は、スポーツマンシップに則り、ルールを守り、正々堂々とプレイしてください。

## 1 ラケット・ラバーについて

- ・ J T T A A のロゴのないラケットは、開会式前に審判長の許可を得てください。
- ・ J T T A A または I T T F のロゴのないラバーは、使用できません
- ・ 破損があるラバーは使用できません。  
(周囲から 2・3 mm の削れは、可としますが、ボールが当たる箇所は不可とする)  
(ラバーの剥がれおよび表・粒高のラバーでは、粒の欠けも不可です)

## 2 試合方法について

- ・ ホープス・カブの試合は、トーナメント及びリーグ戦になります。
- ・ 全て試合を 1 本 5 ゲームマッチでおこないます。

## 3 サービスについて

- ・ サービスは、手のひらを開き、ボールをのせて制止させ、16 c m 以上ほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打球します。
- ・ その間、ボールはエンドライン後方で、台の高さより上になければなりません。
- ・ ボールが投げ上げられてから打球までの間、ボールをフリーハンドや肩などで隠す動作をしてはいけません。(巻き込みサービスは要注意です)

## 4 競技用服装について

- ・ J T T A が公認したもの(赤ワッペン)を着用して下さい。
- ・ ゼッケンは、2024年度日本卓球協会指定のものを使用して下さい。

## 5 タイムアウト・アドバイス・抗議について

- ・ 抗議は、競技者本人のみが行うことができます。
- ・ タイムアウトは、決勝リーグ戦のみ適応します。
- ・ アドバイスは、1分以内をお願いします。

## 6 バットマナーについて

- ・ 競技者またはアドバイザーは、相手競技者に対し、不当な影響を与えたり、ゲームの評判を落とすような言動を行った場合は、バットマナーとして判断され、相手へのポイント、退場、失格等のペナルティが科せられます。
- ・ スロープレイやコールされてもコートに入らないなどもバットマナーと判断されることがあります。競技のスピードアップに協力ください。

## 7 今大会では、サービス違反・マナー違反等で注意(イエローカードの提示等)後も改善されない場合(2回目以降)は、失点または失格等になります。

## 【選手・アドバイザーへのお願い】

### 1 審判について

- ・ 試合開始時の審判は、指定された選手をお願いします。
- ・ 試合をした選手2名で、試合記録を進行席に届け、試合に負けた選手が審判をします。
- ・ 決勝リーグ・順位リーグの審判は、試合をする両チームで審判をします。
- ・ 審判をする選手がチーム内にいない場合は、他チームの選手に審判をお願いします。
- ・ 公認審判員の方が審判をする場合もあります。

### 2 ルールとマナーを大切に、プレイして下さい。

- ・ サービスは、正規のルール通りをお願いします。
- ・ ゲーム間のアドバイスは、1分以内をお願いします。
- ・ 対戦相手の選手に対して、敬意を持って接する。

### 3 昼食・休憩について

- ・ 昼食の時間は、設定しません。昼食や栄養補給は、試合進行の様子を見て行ってください。
- ・ ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。

### 4 閉会式後に各種大会の参加確認（参加費徴収）をします。

東京卓球選手権

関東ホープス卓球大会（個人）

名古屋オープン

大阪オープン